

令和7年3月13日

足立区立本木小学校
校長 井出 誠 様

足立区立本木小学校
開かれた学校づくり協議会
会長 田中 実

令和6年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

- ・年間を通して、あいさつを重点的に指導されてきた。朝の「おはようございます」のあいさつや校内でのあいさつは、かなり浸透していると感じる。地域でも積極的にあいさつをする子が増えて、「本木のまち」を明るく元気にしてくれることを期待したい。
- ・学校だよりやブログ等とおして、学校の様子や取組を知ることができてよかった。「情報の発信」について、保護者・地域から99%の肯定的な評価を得ることができたことは素晴らしいことである。
- ・「基礎学力の定着」が課題となっている。先生方の授業力向上やAIドリル等の有効活用により、今後の伸びを期待する。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- ・子どもをよりよく育てるためには、保護者の協力が必要である。保護者や地域を絡めた活動を開かれた学校づくり協議会で企画できるとよい。
- ・校舎に掲示した「めざす学校像（スローガン）」の横断幕は、保護者や地域へのアピールとなる大変よいものができた。
- ・「人権教育推進」に関するアンケートでは、児童・保護者ともに90%を超える肯定的評価を得ることができた。来年度は東京都教育委員会人権尊重教育推進校として11月に研究発表会を開催する。保護者や地域にも来ていただき学校の取組を積極的にアピールしたい。

3 その他

- ・本木小は、令和8年度に創立150周年を迎える。学校、保護者、地域が三位一体となり150周年に向けて学校を盛り上げていきたい。これからも、地域と共に歩み、保護者と連携し、卒業生の誇りとなるような学校づくりをめざしてほしい。